

寺報

No.621

令和元年5月

蓮華寺
發行

御聖訓

女人にょにんとなる事は物ものに随したがつて物を
 随みえる身なり也おつとたの。夫おつとたの楽しくば妻つまも栄さかう
 べし。夫ぬすびと盗人ならば妻も盗人なる
 べし。

『兄弟鈔』



(解 説)

日蓮大聖人は「女性（妻）は物にしたがつて物を
 したがる身である」とお説きになりました。

ですから、夫が楽しめば妻も栄えるし、夫が盗人な
 らば妻も盗人になるのであると、そしてこうした夫
 婦の契ちぎりとは今の時代の事ばかりではなく、今後、
 時代がどう変わろうとも、相添うものなのであると
 教えになったのです。

世間一般的には、夫婦は妻が夫にしたがつて夫唱婦随
 が理想的であるといわれますが、日蓮大聖人の女性
 観はまるで違うのです。

妻が夫にしたがつているようで、実は夫をしたがえ
 ているのだと、つまり夫や夫婦の繁栄には、このよ
 うな妻の賢さが大事な役割を占めるのであると唱え
 たのです。

この大聖人の女性観は、当時としては希有のもので
 あったといえるでしょう。

大聖人は夫婦が異体同心となり、法華経・お題目の
 信仰を全うする事を願う女性を激励されたのです。

五月十三日(月)

午後一時より

於：大本堂

え たん こう ご さん しゃく 会 誕 降 御 尊 釈 (花まつり)



- * お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
- * 皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
- * お供物も受け付けています。

「命」

お釈迦様は「人間を初めとして、動物や植物などの様々な命は、何の為に生き、また死んでいくのだろうか。」と疑問を持ちましたが、そのお答えとして「それは、草や木や自然がそこにあるように、この命も自然の中にあるからには、必ず意味があつて生きているものなのである。

つまり、この世のあらゆる物とつながりを保ちながら生き、もし、その一つでも欠ければ、その調和が狂つてしまうのである。

だから、生きとし生ける物の命には、必ず大切な役目があるのである。

ですから、この世にはいわゆる無駄な命などという物は、何一つもないのである。

我々の死すらも、重要な意味があるものなのだ。」と、本当の意味の『命の大切さ』を説いています。

花まつりは、今でも我々の心の中に生きていますお釈迦様の誕生の日です。

どうか、皆様で法華経・お題目を持って、お祝いをし上げてみましょう。

蓮華寺の龍神様

以前、蓮華寺の檀家で靈感の強い方が、『龍神様』の事で、こういうお話をしてくれました。

「昔、当山の池は、蓮心寺から正覚寺、常光寺、更に善知鳥神社までずーっとつながっていて、そこを『龍神様』が自由自在に泳ぎ回っていました。

しかし各寺の都合により、池が段々と埋め立てされていった為に、『龍神様』はその居場所を追われてしまったのでした。

そこで、常に法華経・お題目で法楽をしていた、この蓮華寺の池に『龍神様』は引き寄せられ、此処に住み着くようになったのです。

そしてその時、『ただ今より、私はこのお寺を守護する』とのお誓いを立てられたのでした。」

これは、この方が靈感で感得した事であり、しかし、実際皆様もご存知のように、昭和二十年の青森空襲の際、池の水が突然あふれ出し、この水をかけて蓮華寺の大本堂を護る事が出来たのでした。

これは、この『龍神様』のお力によるものだと、今でも当山では語り継がれています。

『位牌壇』募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方は、数がある限り無料でお譲り致しますが、維持費は増額になります。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

日蓮宗

『寺院参拝と懇親会』のお知らせ

今年度の蓮華寺聖徒団・定時総会の日程が決定しましたので、此処にお知らせ致します。

今年は岩手県花巻市にあります「身照寺」(牛崎海秀住職)を参拝し、ご開帳・総会を開催致します。

その後、新鉛温泉『愛隣館』に会場を移し、昼食と慰労を兼ねました懇親会を行います。

「身照寺」は有名な詩人・童話作家の【宮沢賢治】の菩提寺でお墓もあります。

どうか遠方ではありますが、この機会を逃さず、沢山のご参加をお願い致します。

皆様も、なかなか行けない他県の日蓮宗のお寺にも、思い切つて参拝してみましよう。

なお、会員以外の皆様のご参加もご自由ですので、どしどしお申込み下さい。

参加ご希望の方は、参加費を添えまして、お早目に事務所までお申込み下さい。

総会の日程

日時：六月二十三日(日)

集合 合…蓮華寺・午前七時三十分【時間厳守】
 バス…出発…午前八時【集合次第出発します】
 帰着…午後五時半頃予定

場所…総会…身照寺(岩手県花巻市)
 懇親会…『愛隣館』(新鉛温泉)

(入浴施設はありませんが、タオルは各自持参の事)

費用…大人 六、〇〇〇円
 子供 三、〇〇〇円(小学生まで)

②ご開帳料、入館料、昼食代、交通費等を含む。

募 集…九十名(受付中)

持参品…数珠、聖徒団のタスキ、霊神符【お守り】

注意事項

一、身照寺での供養・祈願をご希望の方は、当日の朝受付です。

*供養・祈願…各五百円

一、参加者は、必ず霊神符【お守り】を着体してきて下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますのでこの機会にお求め下さい。

*聖徒団のタスキ…三千元(事務所迄)

檀信徒研修会のお知らせ

☆五月二十五日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当…住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

大切なお題目受持

『霊断』のおすすめ!

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

『提灯』の急募!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トロー)を限定で三個募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が二千元となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費…年額二、四〇〇円(月二百円)

「水子さん」のご供養

仏教では年令を用いる時には、必ず「数え年」を使いますが、これは我々が仏様より命を戴いて、お母さんのおなかの中に宿った時からの年を数えるという意味です。

いかにお釈迦様が命の大切さ、命の尊さを大事に説かれたかがお分かりになると思います。

ですから、仏様から戴いた尊い生命を親の意志で絶つてしまうという事は、決して許されないので、若しその子の前後に兄弟があり、両親に愛情いっぱい育てられたとしたら、同じ命をもらいながら日の目を見られなかった子供達は、余りにもかわいそうではないでしょうか。

そこで、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に、境内に『観音像』を安置しています。

そして、この『観音像』の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来る様になっています。

その「法名紙」に、各自で「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」などをお寺で書き入れてもらい、奉納して下さい。

その供養の方法は

★本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像の中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 【二万円】

となっております。

②どうしても本人が立ち会えない場合は、お寺で読経後奉納します。

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。

更に供養の方法として、『水子観音像』専用の「風車」も用意しております。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養・祈願】が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

どうか、檀信徒の皆様も生きている子供達と同様に、亡くなられた子供達にも精一杯の愛情を注がれる様にお願ひします。



五月の行事

一 日(水) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(月) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(月) 釈尊降誕会【花まつり】 午後一時より

十九日(日) 龍神様・七面様大祭 午後一時より

二十五日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

二十七日(月) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

☆奉仕のお知らせ

十三日(月) 花まつりの準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十一時より

※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。

どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願ひ致します。

十九日(日) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

◎教宣部男女・・・午前十時より

*当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行っていますので、お手伝いをよろしくお願ひ致します。

奉仕部長・山田兼補 教宣部長・杉淵昌三

伝道部長・小野正春

☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の

お勤めには必ず参拝しましょう!

毎月十三日 午後一時より

龍神様・七面様大祭

五月十九日 (日)

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女

- * 龍神様・七面様の御神体ごしんたい、掛軸の御法楽 (二千元)
- * 一般御法楽 (千元)、祈願 (八百円)
- * 御神酒、お供物も受け付けています。
- * 祈願・御法楽をお申込みの方にお札ふだを差上げます。